

座位サポート

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。お読みになったあとも、すぐに出せる場所に大切に保管してください。

用語および記号、絵表記の説明

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電)が描かれています。

⊘ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

ご利用にあたって

警告

必ず実行

手がぬれていたり石けんがついているときや、製品がぬれていたり石けんがついているときは、使用しないでください

手が滑り、重大な事故につながるおそれがあります。

必ず実行

使用時は介助者が必ず付き添い、介助者は、事故が発生しないように十分注意する

重大事故につながるおそれがあります。

必ず実行

可動部(サポートフレーム・胸あて)を操作するときは、可動範囲に何も無いことを確認する

製品に身体をぶつける、製品の破損などにより、ケガをするおそれがあります。

必ず実行

可動部(サポートフレーム・胸あて)はゆっくりと操作する

乱暴に操作すると製品が破損し、ケガをするおそれがあります。

禁止

分解・改造はしない

製品の破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

禁止

排泄時の姿勢保持以外の用途(ぶら下がったり、上に登ったり、ゆすったり、けったり)に使わない

手が滑る、製品の破損により、ケガをするおそれがあります。身体を拘束するものではありません。

禁止

強い衝撃は与えない

製品の破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

禁止

指を挟まない

可動部に指を入れて可動部(サポートフレーム・胸あて)を可動させると、ケガをするおそれがあります。

禁止

定期的に、ガタツキがないか確認し、ガタツキがある状態で使用しない

製品の破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

禁止

はね上げた胸あてを手すりとして使用しない

胸あて部分が可動・脱落することにより、転倒しケガをするおそれがあります。

禁止

製品の隙間に頭・体を入れない

頭部や首の挟まれにより重大事故につながるおそれがあります。介助者は十分注意してください。

禁止

胸あてを利用して、つかまり立ちをしない

胸あて部分が可動・脱落することにより、転倒しケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

<p>⊘ 禁止</p>	<p>製品に水をかけない 製品の機能をそこない、ケガをするおそれがあります。</p>
<p>⊘ 禁止</p>	<p>背あての上から荷重をかけない 背あては「よりかかる」ためのものです。上から手をかけたり荷重を与えないでください。背あてが脱落するおそれがあります。</p>
<p>⊘ 禁止</p>	<p>製品には、必要以上の力を加えない 可動部の最大荷重は垂直荷重・水平荷重600Nです。この荷重以下であれば、多少の変形やガタツキが残る場合がありますが、はずれたり、割れたりしない範囲を示します。</p>
<p>⊘ 禁止</p>	<p>寝たきりの人や行動の予測ができない認知症の人に対しては使用しない 身体を拘束するものではないため、便座からの脱落や挟まれなどの重大事故につながるおそれがあります。</p>
<p>⊘ 禁止</p>	<p>洋式トイレ以外に使用しない 和式トイレや浴室などの高温高湿となる場所には使用しないでください。</p>
<p>⊘ 禁止</p>	<p>体重が80kgを超える方や身長140cm～180cmの範囲外の方、サポートフレームに身体が入らない方は使用しない 製品の破損のおそれがあります。また、サポートフレーム内に身体が入らない場合は胸あてを下ろせない・十分に前傾ができないなどにより、製品本来の機能が発揮できないおそれがあります。</p>
<p>❗ 必ず実行</p>	<p>床固定脚は必ずアンカーまたはネジで床に固定すること 据置形手すりではありません。床に固定されていない状態で使用すると、製品が転倒しケガをするおそれがあります。固定方法は別紙「施工マニュアル」を参照してください。</p>
<p>❗ 必ず実行</p>	<p>利用者が前傾して胸あてによりかかっているとき、レバーだけを操作しない 必ず手でサポートフレーム後方の笠木を下に押さえてから、レバーを上にあげてください。利用者が前傾して胸あてによりかかっているとき、サポートフレーム後方の笠木を押さえずにレバーを引き上げると、急にロックが外れてサポートフレームが前傾しケガをするおそれがあります。</p>
<p>❗ 必ず実行</p>	<p>利用者が安全に使用できる状態であるか、介助者が確認すること 実際の使用可否は介助者が利用者の状態をみて判断してください。</p>
<p>❗ 必ず実行</p>	<p>使用しない時は胸あては立てておくこと</p>

⚠ 注意

<p>❗ お願い</p>	<p>定期的な点検をする いつまでもきれいな状態を保つために、ふだんは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、柔らかい布を中性洗剤の1～2%の水溶液に浸し、よく絞ってから汚れた部分を拭き取ってください。</p>
<p>🚫 裸火厳禁</p>	<p>たばこなどの火を近づけない 製品が焦げたり、溶けたりするおそれがあります。</p>
<p>⊘ 禁止</p>	<p>アルカリ・酸性(弱酸性含む)・塩素系洗剤を使用しない アルカリ性洗剤や酸性洗剤、塩素系洗剤を使用すると、部品が変色や劣化をすることがあります。</p>
<p>⊘ 禁止</p>	<p>推奨品以外のクレンザーを使用しない 推奨品以外のクリームクレンザー、ナイロンたわし等の傷つけやすいものを使用すると、部品表面に傷がついたり、変色することがあります。</p>

用途

上半身の周りにクッションを配置させ、利用者が前後左右に倒れ込むことを防止します。介助者の負担を減らしつつ、利用者の排泄時、座位姿勢をサポートすることができます。

特徴

- ・便器の構造に影響されない床置きタイプです。(アンカー、コーチネジで床への固定が必要です)
- ・胸あては遮断器のように倒れる構造で、使用しない時は跳ね上げておくことができます。
- ・上半身を囲うサポートフレームは便通を助けることを目的に前傾が可能です。(5度ピッチ 最大 30度)
- ・前傾姿勢では、身体を胸あてに預けることができるので、介助者の負担が軽減します。

対象者

- ・端座位（ベッドの端に腰をかけ、床に足をつけて座った姿勢）の保持ができない人を対象とします。
例) 重度の片麻痺、パーキンソン病、脊椎損傷（程度による）、高次脳機能障害による失認、廃用症候群（筋力低下）、疾患を発症したばかりでリハビリの必要な患者、ベッドでの排泄に移行する直前までの高齢者、便意が表現できず長時間座位を保つ必要のある高齢者 など
- ・身長、体重は 140cm～180cm、80kg 以下を目安とします。

⚠ 注意

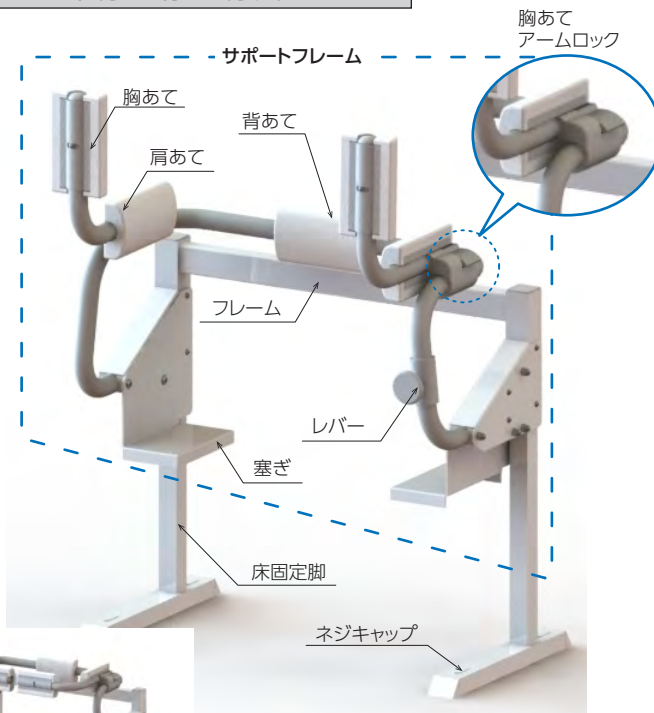
🚫 禁止

寝たきりの人や、行動の予測が取れない認知症の人に対しては使用しない。身体を拘束するものではないため、便座からの脱落や挟まれなどの重大事故につながるおそれがあります。

❗ 必ず実行

利用者が安全に使用できる状態であるか、介助者が確認すること。上記に示した対象者は例であり、実際の使用可否は介助者が利用者の状態をみて判断してください。

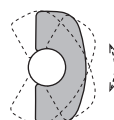
部材名称・材質



名称	材質	数量
サポートフレーム	樹脂被覆鋼管 表層材：抗菌剤入り樹脂 芯材：ステンレス鋼管	1
フレーム	スチール鋼管	1
床固定脚	ポリエステル粉体塗装	2
塞ぎ	スチール鋼板 ポリエステル粉体塗装	2
胸・背・肩あて (標準クッション/厚クッション)	クッション：発泡ウレタン (抗菌仕様) 取付レール：硬質塩ビ	標準クッション 5 厚クッション 2
胸あてアームロック	アルミ アクリル焼付塗装	2
レバー	樹脂成形品	1
ネジキャップ	樹脂成形品	4
六角穴付ボタンボルト M8	ステンレス	4
平座金 呼び 8	ステンレス	4
バネ座金 呼び 8	ステンレス	4
M8 用六角棒スパナ	スチール	1

※胸あてを起こした状態

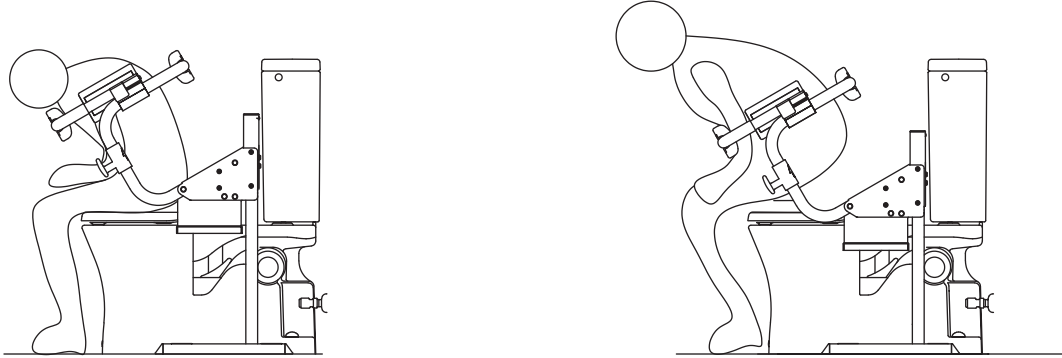
※胸あてを下ろした状態



※胸あて・背あては左図のように回転します

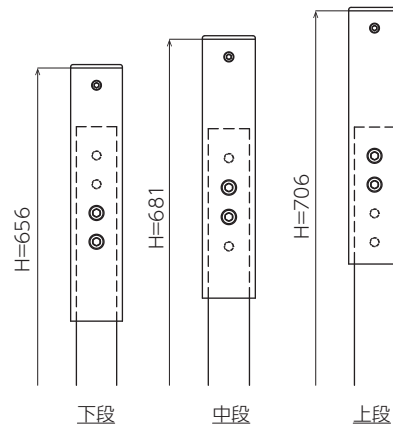
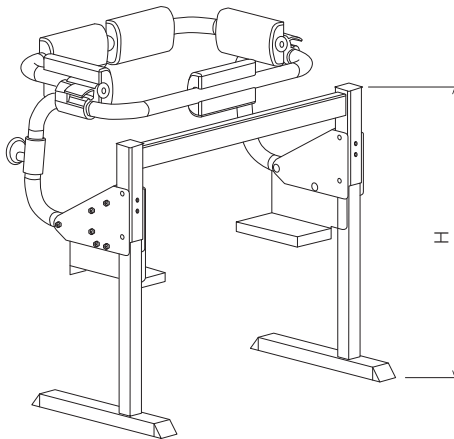
サポートフレーム高さの調整

設置する便座・使用者の体格に合わせてサポートフレームの高さを調整します。
 一般的な高さの便器 (H=約 380mm) は下段~中段、車いす対応便器 (H=約 420mm) は上段が目安となりますが、利用者の胸の高さに胸あてが位置するよう、サポートフレームの高さを調整してください。
 座位サポート使用中にサポートフレームの高さを調節することはできません。設置した座位サポートの高さに合わない方は使用を控えてください。

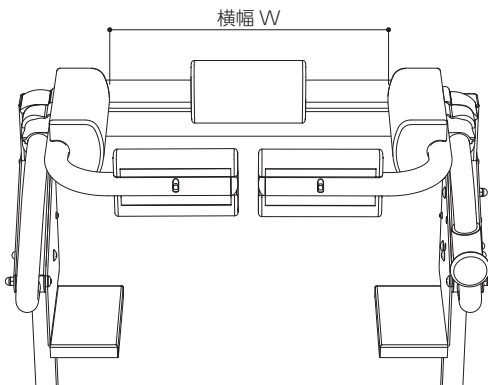


●胸あての位置が高すぎると…
 前傾時に首を圧迫したりするおそれがあります。

●胸あての位置が低すぎると…
 ・腹部を圧迫するおそれがあります。
 ・前傾時に胸あてを乗り越え転倒するおそれがあります。



厚クッションによる横幅調整



⚠ 注意

❗ 必ず実行

サポートフレームの固定は必ず片側 2 箇所 (左右計 4 箇所) をネジ止めしてください。サポートフレームの高さによりネジ止め箇所が異なります。

肩あてを厚クッションに交換することで横幅が狭まり、小柄な人にも対応することができます。
 (厚クッションは標準クッションよりも 35mm 厚くなります。)

横幅 W	
標準クッション	厚クッション
500mm	430mm

こちらから使用方法の動画をみることができます。



動画をスマートフォンで見ることができます。

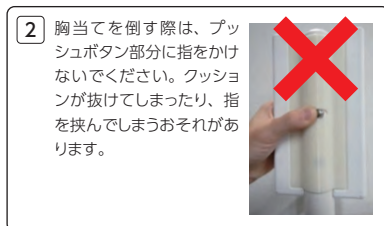
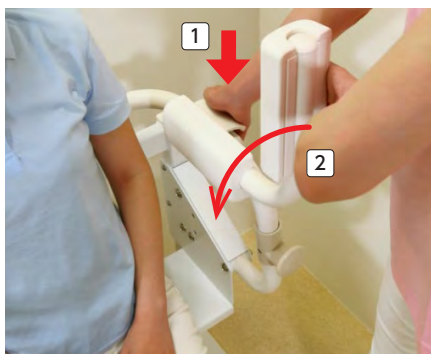
<https://youtu.be/LN3791fSas>

- ① 下衣の脱衣をし、車いすから便座に移乗します(2人移乗を基本とします)。利用者を便座に座らせ、背あてにもたれさせます。



- ② 胸当てアームロックを抑えて、ロックを解除しながら胸あてを倒します。

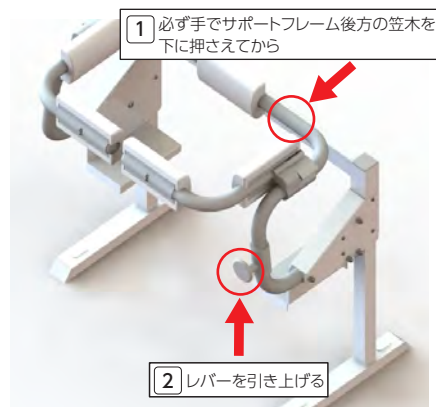
- ③ 利用者を胸あてに寄りかからせます。



- ④ 片手でサポートフレーム後方の笠木を下に押さえこみ、反対の手でレバーを引き上げてロックを解除します。レバーを引き上げたまま、サポートフレーム後方の笠木を押さえながらゆっくりと前傾させ、利用者の排便しやすいお好みの角度でレバーを元に戻します。レバーを元に戻すとロックがかかります。



サポートフレームが急に前傾しないよう、手で押さえながらゆっくりと前傾させる



⚠ 注意

❗ 必ず実行

前傾する際、利用者の手は膝に乗せず、下に垂らしてください。腕が膝の上にあると、体格によっては胸あてと膝の間に手や腕を挟むおそれがあります。

❗ 必ず実行

利用者が前傾して胸あてによりかかっているとき、サポートフレーム後方笠木を押さえずにレバーを引き上げると、急にロックが外れてサポートフレームが前傾しケガをするおそれがあります。

使用方法

- ⑤ 介助者は、利用者の排泄が完了するまで見守ります。
●安全のため、利用者をトイレに残してその場を離れないでください。

- ⑥ 排泄が終わったらさらに前傾させます。お尻と便座の間に隙間ができるので、お尻のケアを行います。



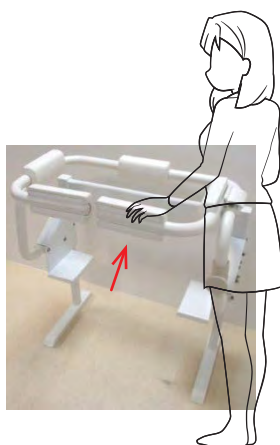
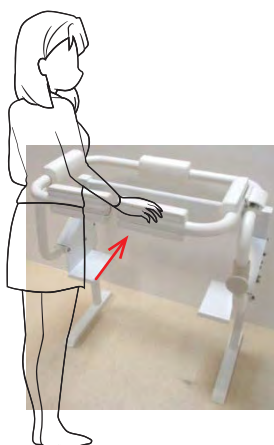
- 利用者が苦しい状態などの場合はサポートフレームを元に戻してください。

- ⑦ サポートフレームごと身体を引き起こします。起き上がる際はロックがかからないので、レバーの操作は必要ありません。

⚠ 注意

❗ 必ず実行

サポートフレーム後方を押さえるように持って下に押ししてください。



⚠ 注意

⊘ 禁止

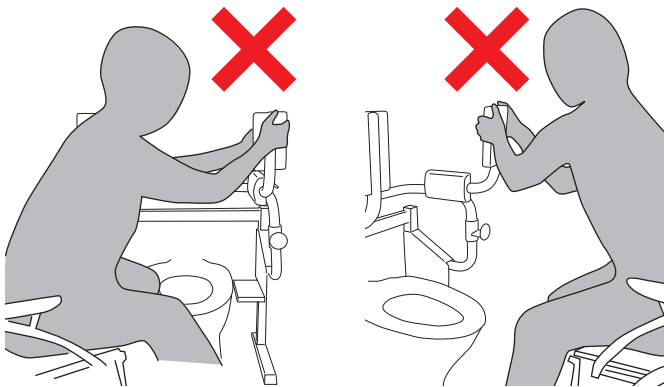
サポートフレームを起こす際、胸あてを持たないでください。胸あてが跳ね上がり、利用者が転倒するおそれがあります。

使用方法

⑧ 利用者を背あてに寄りかからせ、胸あてを起こします。起こす時はロックがかからないので胸あてアームロックの操作は必要ありません。



⑨ 車いすへの移乗を行います。(2人移乗を基本とします。)



⚠ 注意

⊘ 禁止

胸あてを利用して、つかまり立ちをしないでください。胸あて部分が可動・脱落することにより、転倒しケガをするおそれがあります。

お手入れ方法

日常の手入れにより、美観・清潔感を保つことができます。日常のお手入れで落ちない汚れの場合には、下記の要領でお手入れしてください。

- 手あかなど
 - … 水拭きまたは、家庭用洗剤などを用いて、拭き取ってください。
- 油、クレヨン等の汚れ異物の付着
 - … 家庭用洗剤、強力洗剤（柑橘類洗剤）などを用いて、拭き取ってください。
 - クリームクレンザーは、擦りすぎると光沢が落ちますので注意してください。光沢が落ちた場合は、ツヤだし剤を付けた布で拭き光沢を回復させてください。

洗剤を使用する場合は、柔らかい布を中性洗剤の1～2%の水溶液に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に水拭きと空拭きを行い、洗剤分が手すり表面に残らないようにしてください。

推奨品

○家庭用洗剤

マイペット（花王）
マジックリン（花王）



○クリームクレンザー

ホームグタフ（花王）
ジフ（日本リーバ）



○ツヤ出し剤

リンレイ all ワックス（リンレイ）



○強力洗剤

オレンジエース（ダイキョー）
オレンジマン（yuwa）



○サンドペーパー

紙ヤスリ
粗目：＃120
細目：＃240～＃400、＃1000

クッションの交換方法

クッション（胸あて・背あて・肩あて）の汚れが著しい場合や損傷した場合は交換が可能です。以下の方法でクッションの交換を行ってください。胸あてと背あて・肩あてで取り外し方が異なります。

胸あての交換

外し方

プッシュボタンを押しながら、クッションを引き抜いてください。



取り付け方

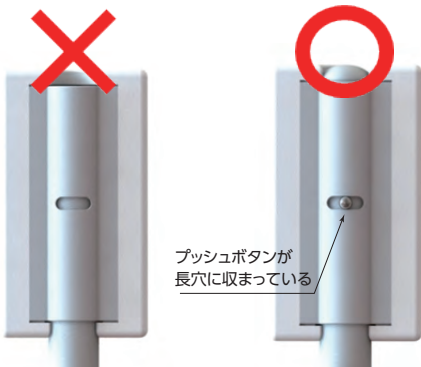
プッシュボタンを押しながらクッションを差し込み、カチッと鳴るまで差し込んでください。



⚠ 注意

❗ 必ず実行

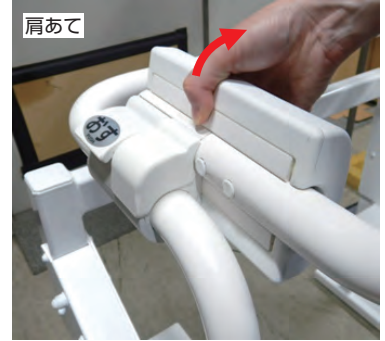
胸あてクッションを差し込む際に、カチッと音が鳴りプッシュボタンが長穴に収まっていることを確認してください。差し込み不十分の場合、クッション脱落の原因となります。



背あて・肩あての交換

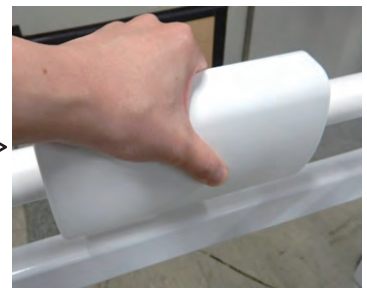
外し方

背あてはクッションの裏側部分を広げながら引っ張り、外してください。
肩あてはクッションを内側にねじるように外してください。



取り付け方

肩あてはクッションをサポートフレームに押さえつけて取り付けます。
背あてはサポートフレームにねじが付いています。クッション裏側の長穴とねじの位置が合うように取り付けてください。



無償修理・交換について

保証期間：竣工引渡日から2年間

保証規定：保証期間内に製造上に起因する不具合が本製品に生じた場合に、無償で修理いたします。

なお次の場合は保証期間内でも有償修理となります。

- ① 本取扱説明書の記載事項以外の使用方法による不具合。
- ② 当社手配によらない第三者による施工や加工、メンテナンスなどに起因する不具合。
- ③ 表示された製品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付られた場合の不具合。
- ④ 製品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、磨耗など)、経年劣化(樹脂部分の変質、変色など)、これらに伴う錆、カビまたはその他の不具合。
- ⑤ 周辺の自然環境、住環境に起因する結露、腐食またはその他の不具合。
- ⑥ 天災その他の不可抗力により、製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑦ 引渡し後の操作誤り、適切な維持管理またはメンテナンスを行わなかったことによる不具合。
- ⑧ お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品の取外しを含む)に起因する不具合。
- ⑨ 本来の使用目的以外の用途で使用された場合の不具合。
- ⑩ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※本保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証内容やアフターサービス等についてご不明の点は、最寄の当社支店・営業所へお問い合わせください。

お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

 **ナカ工業株式会社**

URL <https://www.naka-kogyo.co.jp>

 **ナカテクノ株式会社**

URL <https://www.naka-techno.co.jp>



左のQRコードから
当社ホームページの
問い合わせ先一覧へ
アクセスできます。